

2 目標達成計画

事業所名： グループホーム なの花

作成日： 令和1年10月7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者はホームでの生活が長くなると生活に慣れ刺激が薄れてきている。気分転換や張り合いの確保が必要。	ご家族と楽しむ機会の提供で生活に張り合いを持っていただく。 ご家族にはご本人の生活の様子を理解して頂くため、共に過ごせる行事の計画。	○行事への積極的な呼びかけとご家族にも一役を担って頂き共に参加協力を頂く。 ・四季に合わせた外出、ドライブ、外食等 ・ご家族のリクエストによる行事の企画	12 か月
2		「もっと役に立ちたい」、「手伝うことはないか」と思っている利用者の気持ちがある。	達成感、満足感を持っていただき充実した日常生活に近づける。	○利用者の状況に合わせお手伝いの役割分担 ・食器拭き、洗濯物たたみ、洗濯物干し、手すりの掃除、居室のモップ掛け、布巾作り、おやつづくり、おやつ作り、花の水やり、必要な食材の買い出しその他	12 か月
3		すぐそばに商店街があるが、交流の機会が少ない。地域の交流が持ちやすい活動センター、幼稚園等の協力を得て広い世代との交流機会が必要である。	地域との交流を通じ、「なの花」を知っていただくことで近隣住民、若い世代等広い範囲と良好に信頼を構築して協力体制を設けていく。	○近隣住民への挨拶を行い園の行事への招待 ・町内会活動への積極的な参加 ・学童クラブとの行事交流を持つ ・活動センター、サン・ライフ等、サークル活動発表の場所を提供	12 か月
4		緊急対応時にうまく行動できない時があったため、手順の再確認が必要。	事故、急変時における適切な対応を全職員が周知する。	○緊急時の対応についてマニュアルの再確認 ・ヒヤリハットや事故報告の定期的な検討会 ・緊急時の事故や急変に対するシミュレーションを行い定期的な勉強会を行う ・防災、衛生用備品の保管場所の周知徹底 感染症対策用品(マスク、ガウン等)、ヘルメットなど	12 か月